

# フォレストニュース

## セミナーに桜の祝福

4月2日、国立オリンピック青少年総合センターで行われた環境セミナーに多くの会員が出席しました。高津理事長の「ここまで来た

地球環境問題」と題する講座で、地球温暖化から始まり、現状の深刻さとともに、地球規模での植樹による環境改善と、保全の必要性と、その道筋が語られました。



また、教室の外は環境に恵まれ、ソメイヨシノが満開に咲き誇る中、フィールドワークと、周辺にあるタブノキ、クヌギ、ナラ、シイなどをはじめ、命を守る重要な土地本来の木々の役割を話しました。

また、パラグアイから一時帰国している、伊達勝見さんが、パラグアイでの植樹活動の現状と、今後の方向性について報告をしました。パラグアイは国を挙げて、植樹の必要性を訴えています。ほとんど木が植えられている状況はなく、伐採が続いていて、状況



は、年々と深刻の度を増している」と訴えました。今回、日本に来たので、効果的な植樹の拡大について、他のNPOとも連携していることを話していました。

## 支部会員の募集

### 地球の緑を守る会 支部会員募集キャンペーン

当会では平成29年度までに現在の7支部から21支部までに拡大する計画を進めています。27年度現在の全国支部は、西東京支部（中田欣宏）、長野支部（高津啓洋）、名古屋支部（山本力男）、北関東支部（中島吉紀）、湘南支部（奥平里美）、千葉支部（大滝順治）、四国中央支部（三浦謙吾）の7支部です。

#### 《支部拡大の目的》

- ① 都道府県に「植樹文化」を普及させる  
今まで、木は山にあるもの、木材生産のためのもの、街の緑は美化のための装いであると思われていました。しかしこれからは、そこで生まれ、学び、働く市民のいのちを守る防災・環境保全林づくりが必要です。
- ② 地域固有の環境保全市・町・村のモデルをつくる

ドングリから苗をつくり、その土地に合った樹種を混植・密植する植樹法（宮脇メソッド）を普及させることで、環境危機時代にも生き残る街づくり、村づくりを提案します。それと同時に、母親は家の周りに、子供たちは学校に、父親は職場の周辺に木を植える、足元からの活動を促進します。

#### 《支部会員の特典》

- ① 月3000円の引き落とし会員になっていただくことで、どの地域にお住まいの方にも、「地球の緑を守る会」の支部として活動する資格が与えられます。
- ② それぞれの地域における植樹活動の技術指導は、当会事務局（東京都世田谷区用賀4-34-12 グリーンハウスNo.2-231）のスタッフが責任を持って指導させていただきます。
- ③ 各支部の支部長とメンバーには、東京都認可の環境NPO（特定非営利活動法人）「地球の緑を守る会」の名刺が支給されます。

\*支部会員：月額3000円の引き落とし会員の登録をされた方の便宜上の呼称です。

※詳細は、メールやお電話でお問い合わせください。

理事長 高津啓洋  
事務局長 戸石文夫